

# ホクコーエーワン<sup>®</sup>フロアブル

■種類名：オキサジクロメホン・テフリルトリオン水和剤  
 ■有効成分：オキサジクロメホン----- 1.2%  
 テフリルトリオン----- 6.0%  
 ■PRTR法指定物質：オキサジクロメホン [第1種] ----- 1.2%

■登録番号：第22610号  
 ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)  
 ■登録初年：2010.02.18  
 ■性状：類白色水和性粘稠懸濁液体  
 ■有効年限：5年  
 ■包装：500ml x 20本、2<sup>1</sup>/<sub>2</sub> x 6本

## 【特長】

- 新規有効成分テフリルトリオンとオキサジクロメホン配合の2成分の一発処理除草剤。
- 一年生および多年生の幅広い雑草に有効で、雑草を白化させて枯死させる。
- ノビエの発生を長期間抑える。SU 抵抗性雑草、イボクサ・クサネムなどの特殊雑草に高い効果を示す。

## 【適用内容】(2018年10月末日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北) オモダカ ミズガヤツリ(北海道を除く) ウリカワ ヒルムシロ クログワイ(北海道を除く) エゾノサヤヌカグサ(北海道) セリ(北陸を除く) シズイ(東北)	移植後5日～ レ <sup>1</sup> Ⅰ2.5葉期 但し、移植後30日 まで	砂壤土 ～ 埴土	500ml /10a	1回	原液湛水 散布 又は 水口施用 又は 無人ヘリコ プターに よる滴下	北海道 東北
	移植後5日～ レ <sup>1</sup> Ⅰ3葉期 但し、移植後30日 まで	全域(北海道、 東北を除く)の 普通期及び 早期栽培地帯					
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ レ <sup>1</sup> Ⅰ3葉期 但し、収穫90日前 まで					全域

オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数 2回以内	テフリルトリオンを含む農薬の総使用回数 2回以内
------------------------------	-----------------------------

## 【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- 使用前によく振ってから使用すること。
- 本剤は雑草の発生前から発生初期に有効なので、レ<sup>1</sup>Ⅰの3葉期まで(北海道、東北は2.5葉期まで)に時期を失ないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果に差が出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイは3葉期まで(北海道、東北、北陸、近畿・中国・四国、九州、直播水稲は2葉期まで)、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワ、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで(ウリカワの北海道、東北、北陸は発生始期まで)、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、クログワイ、オモダカは発生始期まで、シズイは草丈3cmまでが本剤の散布適期である。  
また、ホタルイ、クログワイ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものでは十分な効果を示さないで、必要に応じて、ホタルイ、クログワイは有効な前処理剤または後処理剤と組み合わせて使用し、シズイは後処理剤と組み合わせて使用すること。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業は丁寧に行うこと。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧に行うこと。
- 散布の際は水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布すること。また、極端な浅水や深水での使用は避けること。散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、入水は静かに行うこと。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させること。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め田面水があふれないように注意すること。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用を避けること。
  - ◆ 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
  - ◆ 軟弱な苗を移植した水田
  - ◆ 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田

- 本剤を無人ヘリコプターで滴下する場合は次の注意を守ること。
  - ◆ 滴下は使用機種の使用基準に従って実施すること。
  - ◆ 滴下に当たっては散布装置のノズルを使用しないこと。
  - ◆ 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行うこと。
  - ◆ 隣接する圃場に水稻以外の作物が栽培されている場合は、無人ヘリコプターによる本剤の滴下は行わないこと。
  - ◆ 水源池、飲料水等に本剤が流入しないように十分注意すること。
  - ◆ 薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
  - ◆ 本剤の滴下に使用した無人ヘリコプターの散布装置は、水稻以外の作物への薬剤散布には使用しないこと。
- 本剤を直播水稻で使用する場合、稲の根が露出する条件では、薬害を生ずるおそれがあるので使用を避けること。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合には、十分注意すること。
- 散布後に多量の雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用を避けること。
- 散布器、ホース、ノズル、タンク等の器具は、使用后速やかに十分に水洗し、洗浄液は水田内で処理すること。また、使用した機器等は水稻用薬剤以外に使用しないこと。
- 本剤は、移植前に生育したミスガヤリには効果が劣るので、他の方法で完全に防除してから使用すること。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないこと。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

#### 【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲などのないように注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- ❖ 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 保管：直射日光を避け、なるべく低温な場所に密封して保管すること。